

1. 評価報告概要表

評価確定日 平成19年12月10日

【評価実施概要】

| | | | |
|---------------|--------------|-------------------|--|
| 事業所番号 | 2271100824 | | |
| 法人名 | 株式会社 メデカジャパン | | |
| 事業所名 | 沼津ケアセンターそよ風 | | |
| 所在地 (電話番号) | 沼津市中沢田391-1 | (電話) 055-929-0165 | |
| 評価機関名 | 静岡県社会福祉協議会 | | |
| 所在地 | 静岡市葵区駿府町1-70 | | |
| 訪問調査日 | 平成19年7月24日 | | |

【情報提供票より】(19年7月28日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|-----------|----------------------|------|
| 開設年月日 | 平成15年9月1日 | | |
| ユニット数 | 3 ユニット | 利用定員数計 | 27 人 |
| 職員数 | 25 人 | 常勤 20人, 非常勤 5人, 常勤換算 | 21人 |

(2) 建物概要

| | | |
|------|-------|-------------|
| 建物形態 | 単独 | 新築 |
| 建物構造 | 鉄骨造り | |
| | 2 階建て | 1 階 ~ 2 階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | |
|---------------------|-------------|----------------|-------------|
| 家賃(平均月額) | 60,000 円 | その他の経費(月額) | 理美容代・おむつ代実費 |
| 敷金 | 無 | | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有(100,000円) | 有りの場合 償却の有無 | 有 |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ 円 |
| | または1日当たり | | 1,340円 |

(4) 利用者の概要(7月 28日現在)

| | | | |
|-------|-----------|---------|---------|
| 利用者人数 | 27 名 | 男性 7 名 | 女性 20 名 |
| 要介護1 | 6 名 | 要介護2 | 10 名 |
| 要介護3 | 7 名 | 要介護4 | 3 名 |
| 要介護5 | 1 名 | 要支援2 | 0 名 |
| 年齢 | 平均 84.3 歳 | 最低 69 歳 | 最高 96 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|-----------|
| 協力医療機関名 | 永野医院、大嶽歯科 |
|---------|-----------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホーム内は、ゆったりと穏やかで家庭的な雰囲気づくりがされている。共有空間や廊下等は広いスペースが確保され、車いす利用者も自由に動くことが出来るように配慮されている。3ユニットでホームとしては規模が大きいが、利用者一人ひとりに対してきめ細かなサービス提供に心掛けている。利用者一人ひとりの状況とこれまでの生活歴等を十分に把握し、その人なりのペースを最大限尊重し、日常生活がマンネリ化しないように充実した生活が継続できるようにさりげない支援に努めている。これまでの取り組みを振り返り、更なる利用者本位のサービス提供を行う意識を強く有しているため、今後の取り組みに期待したい。

【重点項目への取り組み状況】

| | |
|-------|--|
| 重点項目① | <p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価結果で、家庭的な生活空間作りが課題とされたが、季節感ある植物の配置や装飾で配慮がされる等、計画的に改善を行うとともに、定期的な職員会議等で検討してきている。</p> |
| | <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は職員全員で取り組み、その後ユニットごとでまとめ、問題や課題等を共有している。これまでの取り組みを振り返るとともに、今後の向けて話し合いを行った。</p> |
| 重点項目② | <p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>2ヶ月に一回の定期的な開催を行っている。会議内容や議題について課題としているが、今後も継続し、利用者や家族、地域関係者の参画も仰ぎながら、更なる利用者本位のサービス提供に向けた取り組みを期待したい。</p> |
| 重点項目③ | <p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>日ごろから意見や苦情を家族から言えるような雰囲気づくりに心掛け、出された意見や苦情は速やかに解決する仕組みが整備されている。利用者の様子を定期的に家族にも伝えており、利用者や家族からも信頼されている。</p> |
| 重点項目④ | <p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の祭りや行事等には参加する機会を設けている。今後は、自治会や老人会への加入も検討し、地域住民との交流が更に深まるような取り組みを期待したい。</p> |

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|---|--|------|--|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 認知症になってもその人らしい生活を支援することを念頭に、「なじみの関係」を大切にしたい理念を掲げ、職員ステーションに掲示し、その実現を目指している。 | | |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 毎朝礼時に理念の唱和し、月一回のユニット会議や、全体会議の場で理念の共有を図っている。また、その内容についても確認している。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 地域に根付くホームづくりに取り組んでいるが、地域行事に参加する等の程度で積極的な関わりにまでは至っていない。自治会や老人会等への加入もしていない。 | ○ | 自治会や老人会加入等も検討し、地域との交流が積極的に行われるように期待したい。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 自己評価は全ての職員で取り組んだ。その際に出された課題等も全ての職員で共有を図り、これまでの取り組みの反省へと繋げている。一つの課題を全ての職員の問題として捉えている。 | ○ | 今後も定期的に評価項目内容について話し合う等することを期待したい。 |
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議は2ヶ月に1開催している。会議内容も記録し、職員に内容が周知されている。定期的な開催で、会議内容や議題設定にやや困惑している状況である。 | ○ | 利用者や家族、地域(近隣)住民等の参画を得ることで、利用者へのサービス向上に向けた話し合いや地域との交流も深まることになるので、今後も定期的な開催を期待したい。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|----|--|---|------|---|
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 利用者の介護認定や必要に応じた連絡を取り合っているが、利用者のサービス向上に向けた定期的な話し合いの実施にまでは至っていない。 | ○ | 保険者である市町(職員)に働きかけ、利用者のサービス向上に向けた定期的な話し合いが行われるように期待したい。 |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 月に一度ホーム便り(そよ風通信)を発行するとともに、便りを作成して月に一度家族に送付している。家族への連絡は定期的に行うようにし、近況報告や金銭管理状況、ホーム行事等を伝えるようにしている。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族から気軽に意見や要望が言えるような雰囲気づくりに努めるとともに、それらが出された場合には書面に記し、速やかに対応するような仕組みが確立している。また、その内容は、職員で共有し、運営の改善が図られるようになっている。 | | |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 職員の移動や離職が利用者にも与える弊害について理解し、出来る限りそれを防ぐように取り組んでいる。また、全ての職員が利用者や「なじみ」の関係となれるように、ユニット間の移動を行っているが、職員の離職の問題は抱えている。 | ○ | 職員の退職は色々な原因があると考えられるが、出来る限りそれが起こらないように今後も取り組んで欲しい。 |
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 職員の質の向上に研修の必要性を認識し、経験等に応じた段階的な研修計画を策定し、受講等している。資格の取得についても学習教材等を提供する等して支援している。 | | |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | ホーム協議会等に参加し、情報を得るようしたり、系列ホーム同士で交流や研修機会を設けているが、地域内の同業者との定期的な交流やケース検討を行うにまでは至っていない。 | ○ | 地域の同業者と定期的な交流やケース検討を行うような機会を設け、更に利用者本位のサービス提供に繋がれるように期待したい。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|---|--|------|---|
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 環境の変化が利用者に及ぼす影響を考慮し、ホーム利用するのではなく、併設しているデイサービスを利用できるような仕組みをもっている。またホーム職員が、デイサービスへの関わりをもち、馴染みの関係となれるように配慮している。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 利用者一人ひとりとの関わりを大切に考えて、出来る限り利用者へ寄り添うように心掛けている。職員もその意識を強く持っているが、その他の業務も多く、それについて課題と考えている。 | ○ | これからもその意識を持ちつづけ、利用者へ出来る限りの時間を共有し、充実した生活が提供できるように期待したい。 |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 定期的なアセスメントの仕組みが確立され、利用者の思いや意向を把握するように努めている。把握した内容は記録され、蓄積されるとともに、職員で共有し、一人ひとりごとに検討するようにしている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 介護計画の策定にあたっては、利用者や家族の意向を踏まえ、関係職員が策定した後に、家族にも説明を行い同意を得ている。利用者や家族に意見を求めるが、率直な意見を得られないとの課題も認識しているが、利用者本位の計画となるように取り組んでいる。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | ユニットごとで見直しを行うことになっており、必要に応じて随時見直しを行っているが、計画にある期間ごとの見直しに一部不備がある。 | ○ | 利用者の状況に変化が無くても、定期的な見直しを確実にするようにし、また、その記録を確実にするようにして欲しい。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|----|---|--|------|--|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | ホームの特性を良く理解し、併設のデイサービスとも連携を図る等し、多機能性を活かして柔軟なサービス提供に努めている。 | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 利用者や家族の希望するかかりつけ医への受診を支援し、適切な医療が受けられるように支援している。また、ホーム協力医の定期的な往診もあり、それらの診断内容の把握も行うようにしている。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 利用者や家族からの希望があれば出来る限り希望に沿うように考えている。しかし、ホームとしてどのように対応するかという方針策定にまではいたっていない。 | ○ | ターミナルケアについては難しい問題もあるが、利用者や家族の意向に基づいて、早期に対応できるようにホームとしてどのように対応するのか検討を深めることを期待したい。 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 利用者の羞恥心に対する配慮やプライバシーの尊重については、十分留意するようにしている。また、個人情報についても個別ファイルを施錠できる戸棚に収納する等、適切に取り扱っている。 | ○ | 訪問時には排泄チェック表が目につく場所に置かれたり、失禁した利用者への対応にやや配慮が欠けることがあったので、定期的に職員間で確認し合い、利用者へのさりげない支援に徹するように期待したい。 |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 利用者一人ひとりの生活リズムに合わせて支援するようにし、そのペースを尊重している。食事の際にも主食は、パン又はご飯を選べるようにする等、出来る限り一人ひとりに合わせて支援するように努めている。 | | |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|----|---|--|------|---|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 利用者と職員が楽しく一緒に調理し、食事している。一人ひとりの食事量や好み等にも配慮し、食事の時間を楽しく過ごすように工夫している。主食をパン又はご飯で選べるようにもしている。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 利用者の希望により、いつでも入浴できるように支援している。菖蒲湯、ゆず湯、みかん湯等、入浴時に季節を楽しむことができるような配慮もされている。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 一人ひとりの趣味や嗜好を把握したうえで、楽しみごとや気晴らしができるように支援している。洗濯物を干したりたたんだり、食事の準備を手伝ったりと家事への参加は、自然に行われている。単調な生活とならないように留意しながら、楽しく過ごせるように取り組んでいる。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 一人ひとりの意向を踏まえ、日常的に気軽に外出できるように支援している。車いす利用者もあるが、個別に対応も行われている。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 利用者の安全を考え、裏口、玄関と施錠している。 | ○ | 入居者の安全を考えて施錠しているとのことであるが、施錠することへの利用者への不安等を考え、鍵を掛けない、見守るケアの実践に向けて今後も検討を重ねて欲しい。 |
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 年に2回は防災訓練を行っている。職員も避難誘導方法については体得しているが、地域住民の協力や参画を得るまでは至っていない。 | ○ | あらゆる事態を想定し、それに備える訓練を行ったり、近隣住民の協力も仰げるような関係づくりを期待したい。 |

| 外部 | 自己 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------|----|---|---|------|--|
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 栄養士が作成した献立をもとにし、材料の調整をしながらメニューを決めている。栄養のバランスにも留意している。食事チェック表を用いて、食事摂取量等を記録し、利用者の状況の把握に役立っている。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共有空間は十分な広さを確保すると共に、天窓からの採光や音の大きさ等にも留意して、心地良く過ごせるように工夫している。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居時には家族に対して使い慣れた家具類を持ち込まれるように促しているが、利用者によって様々で、やや殺風景な居室もある。 | ○ | 今後も利用者や家族に継続して働きかけを行い、利用者にとって居心地良く過ごせるような居室づくり支援を行うように期待したい。 |